

① 現在良いと思うこと

- ・ 従来交配なら民間でもできる可能。ゲノムは無理。
- ・ 食品にしない作物が低価格になること
- ・ いい品が安く買える。
- ・ 国内生産量が少ないもの（大豆、トウモロコシ）を、安定的に供給できる
- ・ 日本はルールがしっかり守られていると思うこと
- ・ 遺伝子組換え植物の安全性評価システムがある。
- ・ 減農薬、無農薬の作物の方向に行っているのは良い方向と思う
- ・ 作物の品質向上、多収化に向いていることは良い。
- ・ 遺伝子組換えによって品種改良がおこなわれている
- ・ GM大豆、トウモロコシが畜産に役立っている
- ・ 安価な食品供給ができています
- ・ 日本なりのきめの細かい開発の進展

② 現在、不安に思うこと

- ・ 遺伝子組換えのものがどれくらい出回っているかわからない。
- ・ 安全性について、一般の人が理解しようとしていない
- ・ 日本以外の国でのルールが守られているか？（信用できない国や機関）の調査
- ・ 長く食べ続けて大丈夫か？
- ・ 100%狙い撃ちの遺伝子組換えができない限り、完全に食品として安心できない
- ・ 食べるものなので安全性（生物だからすべて同じものはできないかも。全量検査はできないので）
- ・ ゲノム編集の実験でカルススの培養時間を長くすると遺伝子の変異が増した株が出てくるということを読みました。安全性の見極めが難しいと思いました。
- ・ 飼料については実績があると思われるが、人の摂取については不安がある。
- ・ 検査、評価の雑健は難しいかしらと思わせる。相当な時間経過を必要とすると思う。
- ・ 外国から輸入されている野菜や果物は、遺伝子組換えのものなのか、どのように確認すればいいのか？
- ・ 人体への害毒が現在は出ていないということだが、私は将来に出てくると懸念している。従来公害とは発症まで時間がかかるものだから。
- ・ 安全性評価について、長期に食べ続けた場合、予期しない問題がおきないか。
- ・ 安全性評価方法は本当に大丈夫？一方、それにコストをかけすぎるのも経済性で問題。
- ・ 遺伝子組換え作物の交雑。生物多様性への影響。

- ・微生物、ウイルスなどは突然変異もしやすいので、イタチゴッコにならないか？
- ・メディアは不安をあおる情報が多い。
- ・評価の内容を十分理解できていない中で、思いこみで賛成反対の議論が行われている。
- ・他国での乱暴な開発（ゲノム編集）
- ・日本の開発の遅れ（保守的すぎる社会）

③ 将来、こうなって欲しくないと思うこと

- ・遺伝子組換え作物ばかりになる
- ・改良して良いという事で皆に広まってからダメだった、元の型にはもうもどらない
- ・遺伝子組換えとそうでないものの区別がつかない食品が氾濫すること
- ・野良の増加、権利の過分なしばり
- ・一部の人、国、企業が独占的な利益を得て、戦争に発展しないでほしい
- ・海外は企業主体で行われていて、特許料の問題が（自分の畑で作っているものが他からとんできた組換えの花粉で組換え植物ができてしまったため、お金を払わされた）日本で発生しないように、もうけ主義にならないでほしい
- ・日本は食品の安全性に厳しいのは良いことだと思いますが世界の進歩に送れないことを希望する
- ・国民にデータを秘匿すること
- ・日本の育種改良技術が外国で使われていく
- ・GMの後進国になってしまうこと

④ 将来、こうなって欲しい、と思うこと

- ・生産が民間でもできるように新たな過大な投資なく失われた品種の再生
- ・ゲノム編集の低価格化→気軽にしらべたい
- ・原理的に安全確実な遺伝子組換え技術の実用化
- ・安全を保障できる検査のしくみを維持する
- ・生産者と消費者が互いに理解している
- ・食物の安全性が確保されて食物不足から戦争にならないこと
- ・健康になって病気になりにくい体になる
- ・生産者の負担の少ない品種の改良
- ・トレーサビリティ、情報開示（特に外食産業）
- ・アレルギーや病気の抑制が出来るコメが出てくればと思う。
- ・様々なワクチン米 etc の普及
- ・乾燥、塩害に強い作物の開発
- ・日本国内の水田の維持に役立つ

- ・代謝経路が明らかになれば遺伝子も設計できるようになり開発もやりやすくなる？
- ・十分な理解活動を行って新技術を利用する
- ・遺伝子組換えとうもろこしは日本では将来どうなるか